

送	受	及	號	局	議	合	日	月	付	受	及	縣	省
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
送	受	送	受	送	受	送	受	送	受	送	受	送	受
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

內務省
警務第67號
13. 9. 18

大正
13. 9. 7
和事課

決別
9月12日
判

案起 昭和十三年九月二日

局受 月第 日號 局送 月日

警保局警務乙第五七四號

主查警務課長 岡村

警保局長 長

保安課長 清水

防犯課長 沖野

事務官 岡村

大臣

次官 齋藤

文書課長 齋藤

人學課長 新居

案

年月日 欠目

外務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、

農林、商工、逓信、鐵道、労働、更生

各省欠目 宛

第	第	第
送	送	送
月	月	月
日	日	日

才計調査等ニ關スル件

從來貢省父ハ貢省所官合應ヨリ追府縣書祭部或ハ書祭者長ニ對シ職與採用其ノ他ノ必要ヨリ各種調査方御願會ノ同モ有之之ニ對シテハ出來侍ル限リ御希望ニ副フベク努力致居候處今火事變致生以來書祭事務ハ感々繁劇多岐ヲ加ヘ之ニ對應シ區月事務ノ整理簡易化ヲ圖リ至刀ヲ舉ゲテ專フ治女權持ノ確保ト經濟書祭具ノ他事變關係安務ノ遂行ヲ期シ居ル次第ニ有之候從テ多數ニ上ル石御願會ノ全部ニ對スル調査御願會ハ乍遺應調成御希望ニ副ヒ難キ實狀ニ有之就テハ石事務御願會ノ上書祭ニ由リ御願會ヲ以テ將來迄等御願會ヲ區月御望控有之候特ニ御願會相成度候尤モ重安ナルモノ具ノ他事務已ムヲ侍サルモノニ付テハ今後ニ於テモ出來侍ル限リ御希望ニ應ジ度候ニ付テハ是等ノモノハ事務御願會

内務省

記ノ上應府縣書祭部長(テハ書務部長)凡ニ御願會相成度候存候向石書官自願會合應ニモ尙山万併セテ御願會相成度候

追テ特ニ調査御必安ノ場合ニ於テモ調査事項等ニ付テハ必要最少限度ニ止メフルル候御願會相成度

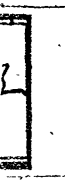
未ノ二

平月日 同 度
應府縣書官 宛

(係東京府)

才計調査等ニ關スル件

自題ノ件ニ關シ別紙ノ通り内務火目ヨリ各自火目ニ通牒セラレ候候御願會相成度同具ノ重安ナルモノニ付テハ防犯防諜等ノ關係ヨ



見 格 五

リ警務上必要ナルモノモ有之且警察以外他ニ適當ナル調査機関
ヲ有セザル實狀ニ鑑ミ各目録面力ノ趣旨ヨリ將來ニ於テモ出來得
ル限り御座願相煩度又成ルベク之ヲ制限統一スルノ趣旨ヨリ本照
會ハ「警察部長」宛局サルベキ様理據セフレ候ヘ共其ノ回答ハ警
察署長ヨリ直接致セラレ支障可無之局念中添候

堀田

各目録ヨリ照會セラルル身計調査等ノ件數ハ近年漸次増加ノ傾向
アリ一警察署ノ取扱件數ニシテ一ヶ月間ニ鑑ミ件力三二百餘件ニ
上ルモノアリ警察ノ現狀ヨリシテ到底其ノ全部ノ調査ニ照シ難キ
有様ナリ故テ本通牒ヲ以テ各縣ニ函力ヲ求メ出來得ル限り之カ減
少ヲ圖リ警察事務遂行上遺憾ナカラシメントス

警務第一六八號

昭和十三年七月二十二日

警務部長

各警察署長 殿

警察事務ニ關セサル事項ノ照會
ニ關スル件依命通達

近時警察事務ニ關セサル事項ノ照會漸次増加ノ傾向アリ固ヨリ照
會事項ハ儘メテ多種多様ニシテ徒ニ之ヲ拒否スベカラザルモアル
ベキハ勿論ナルモ現下警察諸般ノ執行務ハ益々繁劇ヲ加ヘ一々之ガ
要求ニ應ズルコト困難ナルノ實情ニ鑑ミ目今左記事項ノ照會ニ限
リ調査回答スルコトニ決定相成候ニ付テハ之ガ取扱上遺漏ナキヲ
期セラルベシ

一、調査の目的
 二、調査の範囲
 三、調査の方法
 四、調査の結果
 五、調査の結論

昭和十二年七月二十一日
 調査員 〇〇〇
 調査員 〇〇〇
 調査員 〇〇〇

退而大正五年七月警務通第六號警察事務ニ關セザル調査モノニ
 關スル件ハ之ヲ廢止ス

記

- 一、照會先ニ係ルモノ
 - (一) 廳府縣警察部及ニ警察官署
 - 一、臺灣、朝鮮、關東州、樺太廳、南洋廳及滿洲國
 - (二) 憲兵隊
- 二、調査スベキ人ニ關スルモノ
 - (一) 將來將校タルベキ陸海軍ノ學生々徒
 - 一、候補生及依此學生
 - 生徒ヲ古ム
 - (二) 陸海軍上級職工
 - (三) 官内省關係職員及同省關係ノ出入商人、人夫等
 - (四) 三等郵便局長

228 b

内務次官

外務、大藏、陸軍、海軍、
司法、文部、農林、商工、
逓信、鐵道、拓務、厚生

身許調査等ニ關スル件

從來貴省又ハ貴省所管各廳ヨリ道府縣警察部或ハ警察署長ニ對シ職員採用其ノ他ノ必要ヨリ各種調査方御照會ノ向モ有之ニ對シテハ出來得ル限リ御希望ニ副フベク努力致居候處今次事變發生以來警察事務ハ愈々繁劇多ク加ヘ之ニ對應シ極力事務ノ整理簡易化ヲ圖リ全力ヲ舉ゲテ專ラ治安維持ノ確保ト經濟警察其ノ他事變關係要務ノ遂行ヲ期シ居ル次第ニ有之候從テ多數ニ上ル右御照會ノ全部ニ對スル調査御回答ハ乍遺憾到底御希望ニ副ヒ難キ實狀ニ有之就テハ右事情御諒察ノ上警察ニ協力ノ御趣旨ヲ以テ將來是等御照會ヲ極力御差控有之様特ニ御配慮相煩度候尤モ重要ナルモノ其ノ他事情已ムヲ得ザルモノニ付テハ今後ニ於テモ出來得ル限リ御希望ニ應ジ度候ニ付テハ是等ノモノハ事情御附記ノ上廳府縣警察部長（警視廳ニ在リテハ警務部長）宛ニ御照會相成様致度存候尙右趣旨貴省關係各廳ニモ周知方併セテ御配慮相成度候

追テ特ニ調査御必要ノ場合ニ於テモ調査事項等ニ付テハ必要最少限度ニ止メラル様御留意相煩度

大日本帝國政府

御請書

曩ニ御契約ノ警察協會雜誌印刷請負ニ關シ口頭ヲ以テ推問ニ係ル事
項左記ノ通當方ノ所信ヲ表明シ之ガ履行上斷ジテ貴方ニ御迷惑ヲ相
掛ケ申ス間敷此段請書及提出候也

記

- 一、本件印刷御引受ケハ東京印刷工業組合統制規程ノ條項ニ違反セザ
ルモノナルコトヲ確信スルコト
- 二、若シ假ニ右規程ニ違反セリトシテ第三者ヨリ本件御引受ケヲ妨害
セラルルガ如キコトアル場合ニ於テハ萬般ノ手段ヲ擧ジ之ガ排除
ニ努メ之ガ爲契約ノ解除ヲ申出ルガ如キコト無之コト

昭和十六年三月十七日

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

大日本印刷株式會社

專務取締役

青木

木

弘

代理

杉山

退

助

財團法人警察協會御中